

4. 事業の内容

(1) 対象地域

フェズ・ブルマン州、メクネス・タフィラレット州、グルミン・エスマラ州の各県(15 県)。ただし、グルミン・エスマラ州エスマラ県を除く。

(2) アウトプット

- ① 21 の医療施設の建設が完成する。
- ② 37 の医療施設の産科関連機材、13 の医療施設の救急車が整備される。
- ③ 2 県の巡回検診用車両が整備される。

(3) インプット

日本側：

- 医療施設 21 カ所の増築、建て替え、新築
- 医療施設 37 カ所に対する産科用機材（病院向け及び保健センター向け）、臨床検査機材等の調達
- 巡回検診用車両（2 台）
- 妊産婦搬送用車両（13 台）
- 巡回妊産婦検診計画策定の支援（ソフトコンポーネント）
- 対象 3 州における機材維持管理体制整備の支援（ソフトコンポーネント）

モロッコ側：

- 用地確保、整地、既存施設の撤去等
- 予算確保
- 人材確保（特に南部の産科医、及び看護婦・助産婦）

(4) 総事業費

12.48 億円（日本側 12.29 億円、モロッコ側 0.19 億円）

(5) スケジュール

24 カ月の予定。

(6) 実施体制

責任機関：保健省

実施機関：保健省住民局、各県保健支局

5. プロジェクトの成果

(1) プロジェクトにて裨益を受ける対象の範囲および規模

- 本プロジェクトの対象地域人口：対象 3 州の住民 3,889,000 人
- 本事業で直接的にカバーされる人口：約 1,059,000 人（対象 3 州の妊娠適齢女性(15～49 歳)）

(2) 事業の目的（プロジェクト目標）を示す成果指標

① 対象 3 州の村落部において妊産婦のリスクが早期発見される。

- 対象 3 州の妊産婦検診率（村落部）

第一周検診受診者数及び他の産前検診受診率

	2000 年	2009 年
産前検診率	23%	40%
産後検診率	40%	75%

- 巡回検診車を供与する 2 県の巡回検診件数

	2000 年	2009 年
件数	3,800 件	6,600 件

② 対象3州の村落部における産科のリファラル体制が改善される。

- 対象3州の患者移送件数（村落部）

	2000年	2009年
検診時	3,134件	4,000件
出産時	4,528件	5,200件

③ 対象3州における出産時の安全性が改善される。

- 対象3州の施設分娩率

	2000年	2009年
都市部	67.5%	85%
村落部	27%	35%

(3) その他の指標

- 機材の定期点検の励行
日常点検、故障暦の記入が励行される。

6. 外部要因リスク

(1) 対象施設に必要な人材が確保される。

- 超音波診断装置を供与する施設には産科医が不可欠であり、産科のある施設には助産婦が配置されなければならない。

(2) プロジェクト実施期間中の天候が安定する。

- 本プロジェクトのサイトは3州15県37施設、2県保健支局、3州維持管理部に及び、対象地域が北部山岳地域から南部は砂漠近辺まで広がっており、自然条件、気象条件が多様である。山岳部の降雪、砂漠近辺の猛暑等で施設の完成が遅延しない。また、巡回指導が阻害されないことが必用である。

(3) 妊産婦が検診を受ける環境になる。

- 医療スタッフ、妊産婦、家族が検診の必要性を理解する。
- 末端の医療スタッフとの間に信頼関係が構築される。

7. 今後の評価計画

(1) 事後評価に用いる成果目標

- 妊産婦検診率
- 巡回検診件数
- 患者移送件数
- 施設分娩率

(2) 評価のタイミング

- 2009年1月（事業終了の5年後）頃を想定